

サステナビリティへの取り組み

CSR 方針 1 調達

バリューチェーン全体において責任ある調達を推進します。

基本的な考え方

顧客に安心して使っていただける製品を提供するためには、良質で価格競争力のある材料の安定調達を可能とするサプライチェーンの構築が不可欠です。公正かつ公平で透明性の高い取引を通じてサプライヤーと長期的な信頼関係を構築し、サプライチェーン全体で持続可能な成長を実現できるよう資源・環境・人権に配慮した調達活動を推進します。

長谷川香料グループ調達方針

1. 法令遵守・倫理的な取引

各国・各地域における法令・社会規範を遵守し、サプライヤーとともに高い倫理観と社会的良識をもった調達活動を推進します。

2. 人権への配慮

いかなる場合においても人権を尊重し、一切の差別を行わないようサプライチェーン全体において人権侵害につながるような活動を行わないように努めます。

3. 地球環境への配慮

全てのサプライヤーとともに環境負荷の低減を意識し、地球環境保全に配慮した持続可能な調達活動を行います。

4. サプライヤーとの相互信頼と共存・共栄

公正かつ公平な競争原則のもと相互信頼をベースに相手の立場を尊重し、サプライヤーを含む全てのビジネスパートナーと共存・共栄を図ります。

5. 安全・安心とカスタマーサクセス

顧客さらにはその先の消費者に安全で良質な製品を提供することにより、カスタマーサクセス及び安全・安心の実現を目指した調達活動を行います。

ステークホルダーとの関係性

サプライチェーン全体において責任ある調達を推進するため「長谷川香料グループ・サプライヤーガイドライン」を制定しています。公正かつ公平で透明性の高い取引を通してサプライヤーと長期的な信頼関係を構築します。

長谷川香料グループのサプライヤー概況

当社グループでは、化学メーカー、同業の香料メーカー、食品添加物メーカー、食品メーカー、商社、委託製造業者、副資材メーカーと取引を行っています。2022 年度に当社単体で取引のあったサプライヤーの総数は約 450 社で、仕入品目の総数は 3,200 品に上ります。主な内訳は香料原料（天然香料、合成香料）と食品、食品添加物であり、その比率は半々となっています。輸入品と国内調達の比率は 35 : 65 となっており、各サプライヤーの所在地は国内、中国、米国、EU、英国、インド、ブラジル、アルゼンチン等世界各国にわたります。少量多品種であり、比較的単価の高い原料を扱っていることが特徴です。

貢献を目指す SDGs



推進体制・ガバナンス

原料調達は主に資材部が推進します。また、代表取締役社長を委員長とし、取締役をメンバーに含むグループ会社の横断的な組織であるリスク管理委員会において調達に関するリスクの管理・検証を行います。その際、資材部が調達に関するリスクを収集し、リスク管理委員会に報告しています。

リスク・機会と戦略

リスク

- ・ 気候変動による天然資源由来の香料原料の調達不全
- ・ サプライチェーンの社会・環境問題への対応の遅れによる事業活動の停滞と企業価値の棄損

機会

- ・ 調達品目及び調達先の多様化による製造開発の強化やリードタイムの短縮化

戦略

- ・ グローバルな原料調達の実践
- ・ 代替原料の調査、開発
- ・ サプライヤーへのサステナビリティ調査と支援

2022 年度の主な取り組み

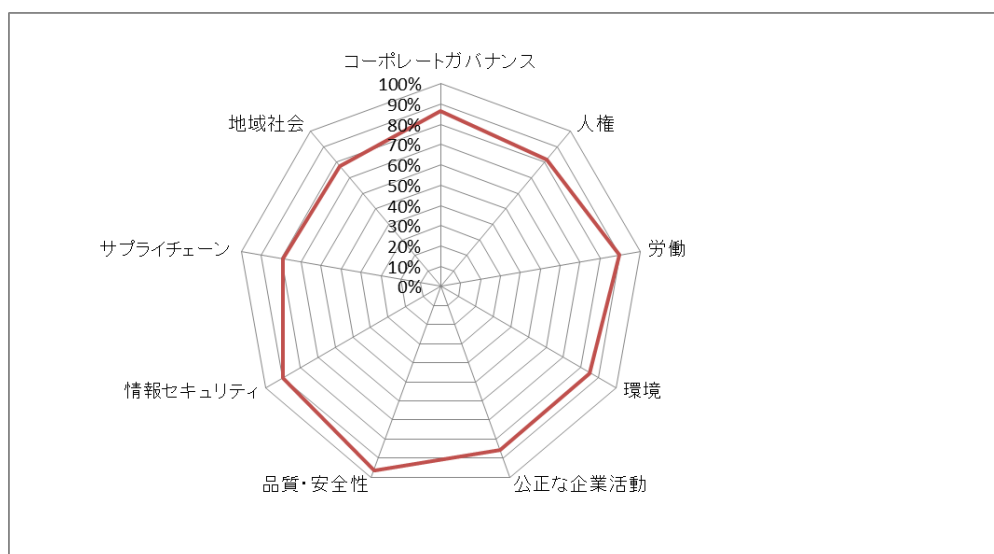
RSPO 認証を継続するとともに、サプライヤーに長谷川香料グループ・サプライヤーガイドラインを周知して、理解していただき、同意書の提出をお願いしました。同時に CSR 調達セルフ・アセスメント・

ツール（グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン）を活用したアンケートを実施しました。2022 年度の同意書、アンケートの回答率は取引金額の 60%をカバーしています。

サプライヤーアセスメントの実施

○2022 年度の調査

- ・ 調査形式：CSR 調達セルフ・アセスメント・ツールを活用したアンケート形式
- ・ 対象：全サプライヤー約 450 社のうち、仕入金額上位 89 社のサプライヤーが対象
- ・ 回答率：89%（回答社数 79 社）
- ・ 79 社の回答結果（得点率）



・ 回答状況を踏まえた傾向等：

- ①コーポレート・ガバナンスの得点が高いサプライヤーは CSR 推進体制の構築が充実しており、全体的に得点が高い傾向
- ②CSR 推進体制が整っていない場合でも、品質、安全性については各社とも概ね得点が高く、品質管理については整備が進んでいると見られる
- ③比較的高得点のサプライヤーであっても、人権、サプライチェーンの得点の低いサプライヤーが見受けられることから、ある程度 CSR の整備されている会社であっても、人権とサプライチェーン管理が今後の課題となっていると見られる

なお、アンケート結果からは児童労働事例・強制労働事例に関して著しいリスクがあるサプライヤーや、結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のあるサプライヤーはないと認識しています。

認証を受けた原料の調達

一部顧客の要請により JGAP（Japan Good Agricultural Practices）認証や ASIAGAP 認証、レインフォレスト・アライアンス認証農場より原料購入を実施しています。

シソオイルの調達

長谷川香料は国内の特徴のある香料原料について積極的に利用を推進して、日本特有の風味の開発に挑戦しています。その一つの重要な香料原料であるシソオイルの調達のために、下記の通り生産組合と連携を図り、品質・数量の安定的な生産と事業継続のための支援を行っています。

- ・ 種の提供：品質の安定、収量の安定を目的に毎年、生産者に種を提供しています。また種苗メーカーの協力のもと、生産地の状況確認を行っています。
- ・ 技術支援：生産性向上のために、当社より研究員・技術員を派遣し製法改良、装置改修の助言・支援を行っています。（※）
- ・ 品質向上支援：生産組合だけでは習得の難しい品質検査の方法について、研究員を派遣し教育・支援を行っています。
- ・ 包材等の支給：生産組合に充填容器、包装資材を提供しています。
- ・ 事業継続：生産者の収益が安定するよう、栽培面積を大きく増減させることなく複数年先を見据えた計画的な調達を推進しています。

（※）シソオイル採油設備の老朽化に伴う改修時、生産組合では設備の評価・設計が難しい面もあることから、当社より設備担当者及び設備業者を派遣し、2021 年に改修を実施しました。

今後に向けて

2023 年度以降は、サプライヤーアセスメントをさらに進め、調査結果に基づく課題を抽出して、サプライヤーと一緒に課題解決に向けて協調することで、サプライヤーとの関係性をより強固にして、サステナビリティ調達を推進します。

- ・ サプライヤーへの「長谷川香料グループ・サプライヤーガイドライン」の共有を継続します
- ・ サプライチェーンを構成するサプライヤーに対し、サステナビリティの推進を継続して依頼します
- ・ グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンによる CSR 調達セルフ・アセスメント・ツールを活用し、サプライヤーへの回答を継続して依頼します
- ・ 海外子会社に現地サプライヤーへのアセスメントの実施を依頼します

サプライヤーアセスメントの実施率（予定）

- ・ 2023 年度：実施率 70%
- ・ 2024 年度：実施率 80%
- ・ 2025 年度：実施率 90%